



第 34 号

令和 6 年10月1日発行

富山県立魚津工業高等学校

同 窓 会

事務局 〒937-0001 魚津市浜経田3338

魚津工業高等学校内

TEL 0765(22)2577 FAX 0765(22)2578

URL <https://www.uozu-th.tym.ed.jp>

Eメール [uozukogyo@ed.pref.toyama.jp](mailto:uozukogyo@ed.pref.toyama.jp)



# 工業課程未来構想

同窓会長 島 津 豊

本年、令和6年1月1日に起きました、能登半島地震で被災されました、多くの方々にお見舞い申し上げます。

さて同窓会の会員は、令和5年度卒業生125名を加えて1万1千914名と約1万2千名となってきました。多くの卒業生が各方面にてご活躍のことと存じ上げます。

最近の魚津工業高校の話題としては、オープンハイスクールなどを通して、保護者の皆さんや、中学生を招いて「ものづくり教室」を各種開催し、工業高校ならではの機材を使って製作や実験などを体験してもらい魅力をアピールされています。また、本校ホームページにも掲載されている独自の取り組みとして『ものづくり』のスペシャリストをめざせ！と称して行っている、特色あるプログラムで生徒それぞれの明日への扉を開けさせています。

また、UDGs「人生を変えるための17の目標」これは、先生と生徒が考え出した、魚津工業独自のサステイナビリティ「持続可能性」を実現するための手引きです。大変よく

できていると思います。是非皆様も一度ホームページを見てください。 “人生今からでも変えられます”

このように本校では、日々研鑽し地域に根ざした特色有る学校運営が実行されております。しかし少子高齢化による問題がいよいよ顕在化してきました。小中学校統廃合から始まり、いよいよ高校再編が検討されています。先日同連協\*1定例総会では、講師の富山県教育みらい室課長(県立高校改革推進担当)様から学校・学科構想の見直し等の現状説明があり、再編に関する有識者検討会議で、「社会の変化に応じた学科やコースの改編などについて検討が必要」とされたとのことでした。

職業系の学科においては、「狙いとする知識や技能、社会から求められる能力や技術といった力が変化している。」また、「工業課程では就職率100%となっており、県内への就職率も高く県内企業を支えていかなければならない。」という意見や、「進学者が増えて幅広い選択を可能にすべき。」という意見がありました。今回検討会議の一部を抜粋し掲載させて

いただきました。これからも同窓会として見守って応援していきましょう。

結びに、母校のさらなる発展とともに同窓会会員の皆様のご多幸とご健勝をご記念申しあげてご挨拶とします。

### 参考資料

「県立高校教育振興検討会議」  
\*1 富山県立工業課程高校同窓会

連絡協議会

## UDGs



Uozu-tech-high-school DEVELOPMENT GOALS

### 人生を変えるための17の目標

1 本物に触れよう	2 地域社会と自分をつなごう	3 正しいものづくりをしよう	4 本気になる	5 自分から行おう	6 自信を持とう
7 後継者やリレーしよう	8 志を立てよう	9 自分の内面を知ろう	10 良い視点でも考えよう	11 多様な考え方をしよう	12 自分の想いを伝えよう
13 想いに寄り添おう	14 チームで協働しよう	15 疑問を持とう	16 創造しよう	17 工夫しよう	



## 未来を切り拓く力を 育むために

校長 辻 寛

日頃より、本校の教育活動に対し、温かいご支援とご協力をいただき、誠にありがとうございます。4月に校長として着任してから、早くも5ヶ月が経過しましたが、現在も熱意ある教職員と心優しい生徒たちと共に、充実した日々を過ごしております。新川地区唯一の工業高校としての使命を果たすべく、全員で取り組んでおります。

近年、私たち人類は地球規模の課題に直面しています。国際的な紛争、経済の不安定さ、異常気象などが続き、私たちの生活や未来に影響を及ぼしています。このような時代において、私たち一人一人が強い意志と柔軟性を持ち、未来を切り拓く力を育むことが重要です。本校も、こうした変化に対応し、未来を担う生徒たちに持続可能な社会を支える技術と知識を提供するために努めております。

さて、今回、元メジャーリーガー

のイチロー選手と将棋プロ棋士の高見泰地氏の言葉を通じて、日々の努力の重要性和、未来の工業高校生への期待についてお伝えしたいと思います。これは、生徒たちにも式辞で触れた内容です。

イチロー選手は、「小さいことを重ねることが、とんでもないところに行くただ一つの道である」と述べています。これは、日々の小さな努力が、大きな成果へとつながるといふ教えです。彼の成功は、単なる偶然ではなく、継続的な努力と自己改善の賜物です。私たちも、この精神を生徒たちに伝え、彼らが夢を実現するための道を築く手助けをしていきたいと考えています。

高見泰地氏も、「山は見上げないと登れない」という名言を残しています。そして、彼はチャップリンの言葉で、大きな困難に出あったとき、「人生はクローズアップで見れば悲劇だが、ロングショットで見れば喜

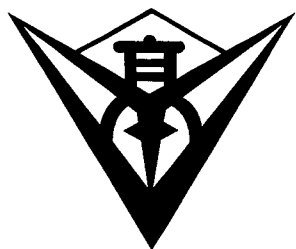
劇である」という言葉(これは、「細かい狭い部分ばかりだけを見ると深刻に捉えてしまうが、広い視点や全体を俯瞰すると、別の見え方になり、ときには笑い話にも見えたりする」ということのようにです。)に励まされたとも述べています。

彼は、目標をしっかりと定め、困難な状況でも前進し続ける覚悟の重要性を説いています。彼の経験も同様に、どんなに小さな努力でも、それを続けることで自信となり、大きな成果に繋がることを教えてくれています。私たち教職員も、こうした姿勢を生徒たちに示し、彼らが挑戦し続ける環境を整えることを心がけています。

また、本校の校章には「英知のひらめき」と「技能のかがやき」が象徴されています。これは、知識と技能を活かし、社会に貢献する教育理念を反映したものです。私たちは、この理念に基づき、日々の教育活動を通じて、生徒たちに「ひらめき」と「かがやき」を育むことを目指しています。これからも、より良い教育環境を提供し、生徒たちが未来の「ものづくり」スペシャリストとして成長できるよう支援して参ります。

4月以降を振り返ると、生徒たちは多くの成果を挙げ、学校全体が一体感を持つて様々な活動に取り組みました。遠足、高校総体、体育大会、そして高校野球の大会など、多くの思い出が生まれました。これらの活動を通じて、彼らのファイティングスピリットや協働の精神が育まれていくことを、大変嬉しく思います。

これからも時代の変化に対応しつつ、地域産業を担う「ものづくり」スペシャリストを育成し、志を立てて社会を豊かにする生徒を育てることが私たちの使命です。今後とも、皆様のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様の健康と益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。



毎年「同窓会だより」を、楽しみに拝読しております。魚津工業高校生徒の活躍ぶりに感動し、我が友と過ごした学生時代や部活動に想いをほせております。

私は昭和46年3月第9回電気科を卒業しました。

就職は、ベアリングの製造会社に入社  
電気課に配属され機械の修理  
3年・改造工事3年を経験して電  
気設備の設計者となりました。

業務は、機械・設備の導入、古い  
機械のオーバーホールです。当  
時の研磨機械はアメリカ製やソ  
ビエト製の機械が多く国産機械  
で加工精度の高いものは「無く」  
独自開発して「作る」しかなか  
った時代でした。そこで社内の製  
造課スタッフ・機械設計者と電気  
設計者で企画・立案し協議を重ね  
て機械設備を作り上げていくの  
です。ソビエト製の機械は真空  
管式制御装置が搭載されており  
調査の段階で非常に高度な技術  
に驚きました。社内で製作した  
独自の設備を生産ラインに投入  
し製造課担当者からの「改善要  
求」を受けて設備にフィードバッ  
クする。この繰り返しで飛躍的に生産ラ  
インが向上し、生産ラインの自動化にも  
繋がっていききました。知恵の集合体が出  
てきました。「ものづくり」は「作り手」  
がいて、「使い手」がいる。「使う人」の  
「効率改善」を追求する事が生産技術の

根底にあります。生産設備に「たずさわ  
り」50年になりました。退職後、生産ラ  
インの「見える化」プロジェクトの発足  
から参加し2年になります。

生産工場の「見える化」とは？工場の  
生産ラインは「生産指令」から始まりま  
す。「製品出荷」までの全て行程を「デー  
ター化」するという事です。

「生産数」「機械稼働率」「不良  
品の解析」「消耗品管理」「サイク  
ルタイム」など生産ラインの「現  
状」を「把握」する。「五感に頼  
らず数値化すること」が「見える  
化」の目的です。今年「旋盤機  
械」の「データ収集」に着手し  
ています。「LAN回線」により、  
各機械から収集したデータの  
管理・運用方法を検討しながら  
実験を繰り返しております。プ  
ロジェクトも道半ばですが「もの  
づくり」と「見える化」を「チー  
ム全員のチームワーク」で完成さ  
せていくと頑張っております。

我が魚津工業高校は「ものづ  
くり」のスペシャリストの育成を  
教育方針に掲げた先進校でもあ  
ります。「ものづくり」の感覚を  
「勉強・体験」されて「ものづくり」の楽  
しさを実感してください。今後にきつと  
役立ちはずすです。

魚津工業高校並びに生徒の皆様  
のご活躍を期待しております。併せま  
して同窓会のご発展を願っております。



### 「ものづくり」と「見える化」

元(株)三光電子工業  
職場同窓会 元(株)三光電子工業  
紹介シリーズ  
第9回 電気科 内山 義和 (S46年3月卒)

私は、高校を出て就職する  
にあたり、何らかの職人にな  
ろうと決めていました。最初  
は料理人を目指し洋食店で働  
きましたが、結婚を機に週末  
休日のある会社へ機械工とし  
て転職しました。しばらくし  
て会社勤めが性に合わなかつ  
たこともあり、やはり職人で  
身を立てようと、将来も廃れ  
ず必要とされる職種は何かを  
考え、ライフラインである水  
を扱う配管の道へと進みまし  
た。六年ほど修業した後、会  
社を設立。水廻りの漏れた、  
詰まった、壊れたなどの修繕  
工事からお役所の工事まで幅  
広く仕事をしていたところ、五十を  
過ぎてから夢にも思わなかつた仕事  
を目指すことになりました。

現在、富山市市議会議員として皆  
様からの不安の声を行政へ届けてい



### 私の仕事と人生

富山市議会議員  
職場同窓会 富山市議会議員  
紹介シリーズ  
第24回 機械科 飯山 勝彦 (S61年3月卒)

所属する委員会においては、  
主に市政の企画、まちづくり、市税  
教育、防災などに関する事を所管  
しています。この仕事を目標したきつ  
かけは、小中学校のPTA活動や校  
下の自治振興会での活動を通して、  
誰かがまとめ役となり地域と  
行政とのパイプ役がどうして  
も必要だということを痛感し  
たからです。

職に就かせていただいた三  
年半、その間にコロナ社会か  
らの復興、能登半島地震から  
の復旧、防災対策など多くの  
課題に取り組んでおり、忙し  
い日々を過ごしていますが一  
度たりとも面倒だとかやめた  
いなどの後悔なく、本当にや  
りがいを感じています。

振り返れば、高校時代も機  
械科から学校を盛り上げなく  
てはならないと思いい生徒会長  
に立候補し、電気科以外から  
初めてとなる二期連続での生  
徒会長を務めさせていた、たい  
なこと、様々な変革を行ったこと  
を思い出します。

今後地域のためには何が必要か！  
をしつかり考え、盛り上げていき  
たいと考えています。

小学生の頃から寿司屋になりたい  
 と思い続け、高校から寿司屋でパイ  
 トを始め、二十一歳のときここでは  
 ない何処か自分のことを誰も知らな  
 い場所で、自分の力を試すべく北海  
 道へ。

車に荷物だけ積んで北海道  
 は札幌で、寿司屋の看板を見  
 つけては「修行させてもらえ  
 ませんか」と何軒もまわった  
 がなかなか見つからず、次は  
 小樽へ行きようやく拾っても  
 らえた。

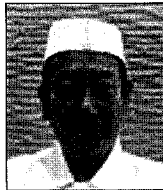
そこでは自分の無力さを痛  
 感し、給料は激安だったが寿  
 司のいろはを学んだ。

平成十九年に今の妻と結婚。  
 平成二十二年に地元魚津に帰っ

てきて、すぐに自分の店を作  
 りたかったが、修行を終えた  
 身で無職扱いの為、銀行から

の融資がなかなかおろさず苦戦しなが  
 らも翌年に魚津駅前に店を構えた。

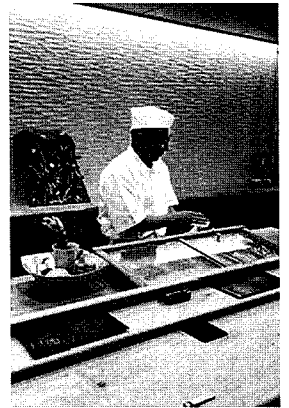
「高い」「気取っている」「長く続け  
 わけない」などと言われながらも自



## 鮫 大 門

職 場 同 窓 会  
 紹 介 シ リ ー ス

第35回 電 気 科 大 門 太 郎 (H9年3月卒)



分の仕事を貫き、今では県外  
 からの常連客も集つようになっ  
 た。

コロナ禍の時も、その常連  
 のお客様に支えていた。だき、  
 本当に感謝しかない。

鮫大門はただお料理を提供  
 するだけではなく、来てくだ  
 さるお客様ひとりひとりと向  
 き合い、真心で接することを  
 常に心掛けています。

休日は、イカや甘鯛やノド  
 クロなど趣味で釣りをしてい  
 たが、自分で釣った魚だけで  
 寿司を握ることがこれからの

夢である。  
 今後も地元魚津で、鮫を握り続け  
 たいです。

## 第37回 工業技術論文発表大会／ミラコン2024

1月26日(金)に富山市民プラザで第37回工業技術論文発表  
 大会(ミラコン2024)が開催されました。今年も、情報環  
 境科2年生、紙君、佐伯君、境田君、坂本君、柘田君の5名  
 で、「楽々ペットボトルクラッシュャー」家庭で出来るペット  
 ボトルのリサイクル」と題して発表しました。

ペットボトルリサイクルの工程の一つである「粉碎」を回  
 収前に行うことで、家庭・リサイクル業者それぞれにメリッ  
 トがあると考え、ペットボトル粉碎機を製作することにしま  
 した。

シュレッダーで用いられている機構をモチーフに設計し、  
 旋盤、フライス盤、ボール盤等の工作機械を用いて、各部品  
 の製作を進めました。頭で考えたイメージがその通りになら  
 ず、トライアンドエラーをひたすら繰り返すという地道な作  
 業が多かったです。今回の経験からものづくりの大変さや難  
 しさを知るとともに、それを経て上手く動作したときには達  
 成感を感じることができました。

大会では実験賞を頂きました。よりよいものとなるよう引  
 き続き研究に取り組んでいきたいです。



# インターハイ、全国高等学校選抜大会(スキー競技)出場



情報環境科 3年  
浦 海斗君



令和5年度富山県高等学校総合体育大会スキー競技会が令和6年1月17～18日に南砺市平スキー場で開催され、本校情報環境科の浦海斗君(当時2年)が、男子回転で優勝(去年に続き連覇)、大回転で2位となり、両種目ともにインターハイの出場権を手に入れました。

平成19年以来の県内開催となったインターハイは、2月7日～11日の5日間、南砺市平スキー場で行われ、浦君は男子回転で24位に入る健闘を見せました。また、3月5日～8日に長野県山ノ内町志賀高原スキー場で行われた全国高等学校選抜スキー大会では、男子回転で12位、大回転で20位に入るなど、入賞まであと一步となる好成績を収めました。

前号でも触れましたが、本校にはスキー部がないため、シーズン中はご家族のサポートのもと、個人での練習に励んでいます。その一方で、オフシーズンにはラグビー部のフォワードとして、日頃の練習はもちろん、県外合宿や遠征にも欠かさず参加しています。

このいわゆる「二刀流」の取組は、チューリップテレビ「ハイスクールチェック」で取り上げられ、インターハイ直前の2月7日に放映されたほか、大会当日には、ラグビー部員総出で現地応援に駆け付けたことが、マスコミの取材対象となりました。



浦君を応援するラグビー部員達

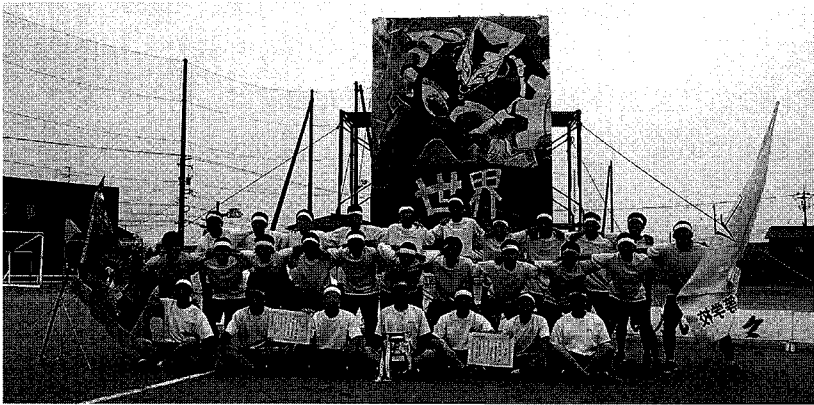
間もなく高校生活最後のシーズンを迎えます。充実した高校生活を送ることで、心身ともに逞しく成長を続ける浦君の更なる活躍に、ご期待いただきますよう宜しくお願いします。



## 体育大会黄獅団優勝にあたって

令和5年6月14日(水)、時折小雨が降る中でしたが、第62回体育大会が無事に行われました。電気科率いる黄獅団は、競技の部での優勝と応援の部での最優秀賞を勝ち取り、23年ぶりの総合優勝を果たすことができました。団長を中心とした応援リーダーの生徒たちは、効率的に練習やマスコット制作を行えるよう、練習予定を事前に計画したり、団員への指導では、ダンスができるようになるまで寄り添いながら丁寧に振り付けを教えたりするなど、回数を重ねるほど、まとまりが出てきているのを感じました。本番では、団員一人一人が本気で競技と応援に取り組んでいました。また、団席からも、3年生を中心に声援をかけ続けていて、真剣に総合優勝をつかもうとする姿勢がみられました。

3年生は、1年生の頃の体育大会終了後から、「俺たちなら3冠を取れる!」と意気込んでおり、その気持ちを絶えず持ち続けていました。その言葉通り、今回は競技・応援・マスコット全てに対して、事前の取り組みを一念に行ったことが総合優勝につながったと思います。今後は、黄獅団が3冠を取った上での総合優勝を果たすことを楽しみにしています。



## 校則の変更について

令和5年度の生徒会執行部の代表が、校則の見直しをしたと申し出てきました。過去を調べると、頭髪については、前回の見直しから16年、制服については、14年が経過していました。

頭髪については、生徒会執行部の代表が中心となり、今の時代に合った、それでいて高校生らしい髪型として3学期から規則を変更しました。生徒会執行部代表と生徒指導部が何度も話し合った後、PTA会長をはじめ保護者の代表数名からも意見をいただき、最終的に頭髪の規則を決定しました。3年生は、これまでとは違う雰囲気、元氣よく本校を巣立っていききました。

スカートについては、生徒会からの要望に加え、多様性の時代であることから、導入することを決定し、制服のオプションが増えました。スカートの色や長さ等については、生徒の意見も聞き、令和6年度から導入しており、数名の生徒が着用しています。

今後、生徒自身がつくった規則を自分達で守り、学校風土をより良いものにしていくと期待しています。



# ◆ 令和5年度 同窓会総会 ◆

令和5年度魚津工業高校同窓会総会が10月28日(土)午後6時よりスライホテル魚津にて開催されました。今年度は、新型コロナウイルス5類引き下げに伴い、コロナ以前の賑わいある総会、懇親会を行うことが出来ました。まず始めに、島津会長(第15回電気科卒)が開会の挨拶を行い、続いて井川校長が挨拶をされました。永年勤続教職員表彰では10年勤続の丸田真之先生に感謝状および記念品が贈呈されました。

続いて議題に入り、令和4年度の会務並びに事業報告、同窓会一般会計・事業会計・魚工展積立会計・全国大会特別会計・部活動助成費特別会計の決算並びに監査報告がされました。また、令和5年度の事業並びに会務計画(案)、令和5年度同窓会一般会計予算(案)等が審議され、いずれも満場一致で承認されました。

総会終了後、吉野理事(第31回化学工業科卒)の司会進行にて懇親会が催されました。

会長、校長の挨拶の後、米澤顧問(第3回機械科卒)による乾杯の音頭にて開会され、和やかで明るい雰囲気の中でお互いの近況報告や情報交換そして高校時代の思い出話に花が咲きました。



令和5年度 同窓会総会風景



最後に校歌を参加者一同で斉唱し、閉会の挨拶で盛況の内に懇親会を終えました。

## 生徒の進路希望と求人状況

【就職】この春の富山県経営者協会の来春採用状況調査報告で、「2025年4月の採用予定数について、全産業223社で具体的な数値での回答があった149社の合計は1928人で、2024年4月の採用実績1431人に対して49人増となっている。」との報告がありました。新型コロナウイルスからの業績回復による採用意欲の高まりが鮮明となってきました。また、現状の人員に対する不足感から、人員確保のため初任給を引き上げるとした企業も増えてきており多くの業種で、人材確保を急ぐ動きが出ています。

このことから本年度の本校への求人は、令和5年度に比べ1.2割程度増加すると予想されました。

7月から求人票受付が始まり、8月の中旬まで、本校へ求人依頼のあった県内企業数は47社、求人数は737名であり、昨年同時期に比べて1割増となっています。これに対して就職希望者は全体の73.1%にあたる68名であり、有効求人倍率は10.8倍です。就職希望者は8月の下旬には、ほぼ応募先を決定することになります。

近年は、企業は意欲のある優秀な人材を求めており、選考試験の競争もさらに激しさを増しています。生徒達は危機感を持ち、夏休み中も履歴書の作成や作文・面接練習に励み、試験に備えています。

【進学】今年の進学希望者は26.9%にあたる25名で、昨年度に比べて12名減です。4年制大学希望者が1名減少し、短大で3

名の増加、職業能力開発大学校で1名の減少となりました。

進学希望の生徒たちには、何のためにその学校に進学するのかを明確にした上で勉学に励むように指導しております。生徒たちが志望校に合格し、それぞれが思い描いた学校生活を送ることを願っています。

本校を巣立っていく生徒たちは、同窓会の諸先輩方にお世話になることと存じます。つきましては、今後とも厳しくも温かいご指導をよろしくお願い致します。



6月16日 企業説明会  
本校第一体育館

○ 求人企業数・求人数		
県内	417社(393社)	737名(679名)
県外	462社(290社)	929名(720名)
○ 就職希望者		
全体	68名(86名)	全体比73.1%(68.8%)
県内	66名(80名)	
県外	2名(6名)	
○ 進学希望者		
全体	25名(37名)	全体比26.9%(29.6%)
大学	10名(11名)	短大 4名(1名)
能開大	5名(6名)	公共職訓 1名(0名)
専門	5名(19名)	未定 0名(0名)
就職・進学未定	0名(2名)	
※データは8月19日現在、( )は昨年実績		
今年度卒業予定者数 93名(昨年度卒業生徒数 125名)		

# 母校だより 教職員の人事異動

(令和6年3・4月)

令和5年度末の人事異動により、次の方々の異動がありました。

ご退職・ご転出されました先生方には、これまでのご指導に深く感謝し、一層のご健勝とご活躍をお祈り致します。

ご転入の先生方には、本校に新鮮な息吹を吹き込んでいただきたく、ご活躍を期待申し上げます。

### ◎ご退職(役職)

西尾 俊久(再任用教諭)

### ◎役職定年(役職)・転出先

井川 忠司(校長)・富山工業高校

### ◎ご転出(役職や教科)・転出先

角井 勇人(副校長)・高岡工業高校

富岡 政裕(機械)・高岡工業高校

林 拓人(理科)・富山いずみ高校

山崎 将平(電気)・富山いずみ高校

結城 諒平(主事)・富山高校

江上 雄斗(主事)・上市町立陽南小学校

### ◎ご転入(役職や教科)・前所属

辻 寛(校長)・八尾高校

窪田 あゆみ(英語)・桜井高校

飛田 豊(機械)・富山工業高校

島田 育弘(情報環境)・県立学校課

江尻 達哉(情報環境)・新規採用

田原 未菜子(主事)・桜井高校

福田 朱璃(主事)・新規採用

## 部活動の記録

### ★バドミントン部

令和6年度 富山県高等学校総合体育大会

男子ダブルス ベスト32

尾花 孔成(3M)、栗虫 煌大(2J)

男子シングルス ベスト32

尾花 孔成(3M)

男子団体 ベスト16

第43回 全日本ジュニア富山県予選会新川地区大会

男子シングルス 2位 栗虫 煌大(2J)

3位 辻 竜之介(2M)

### ★アーチェリー部

富山県高等学校春季大会

男子団体 2位

浄土 愛晴(2M)、笹原 恵(2J)

中村 奏太(3E)

富山県高等学校総合体育大会

男子個人 30m 2位 山瀬 巧実(3J)

男子団体 2位

浄土 愛晴(2M)、笹原 恵(2J)

中村 奏太(3E)

北信越高等学校体育大会

男子団体 4位

浄土 愛晴(2M)、中村 奏太(3E)

前本 悠助(2E)

男子個人 9位

浄土 愛晴(2M)

中村 奏太(3E)

前本 悠助(2E)

### ★剣道部

第66回 富山県高等学校 剣道春季大会

男子団体 2回戦

富山県高等学校総合体育大会

男子個人 ベスト32 帆澤 航弦(3M)

男子団体 2回戦

### ★機械工学部

第33回 富山県高等学校ロボット競技大会

男子個人 ベスト32 帆澤 航弦(3M)

男子個人 ベスト32 帆澤 航弦(3M)

藤田 桂伍(3M)、宇野津 輝(3M)

米澤 康大(3M)、松村 浩太(3M)

松山 裕紀(3M)

### ★スキー競技

令和5年度富山県高等学校総合体育大会スキー競技会

男子大回転 2位 浦 海斗(3J)

令和5年度富山県高等学校総合体育大会スキー競技会

男子回転 優勝 浦 海斗(3J)

令和5年度全国高等学校総合体育大会スキー競技会

男子大回転 48位 浦 海斗(3J)

令和5年度全国高等学校総合体育大会スキー競技会

男子回転 24位 浦 海斗(3J)

第36回 全国高等学校選抜スキー大会

男子大回転 20位 浦 海斗(3J)

第36回 全国高等学校選抜スキー大会

男子回転 12位 浦 海斗(3J)

2025年1月

## 吹奏楽部演奏会

I. クラシックステージ

II. ポップスステージ

詳しい内容については  
後日学校ホームページ等で  
発表します。  
是非ご来場ください。

## 令和6年度 総会のご案内

と き  
令和6年11月2日(土)  
18:00~

ところ  
スカイホテル魚津  
(旧ホテルサンルート魚津)

※懇親会 午後6時30分~  
会費 7,000円

## 富山県ふるさと母校応援プロジェクト(学校指定寄附)

令和4年度から、ふるさと納税を活用して、学校を指定して応援いただける寄附制度が創設されました。魚津工業高校では、

- ①ものづくり「金の卵」応援事業
  - ②目指せ全国大会！部活動応援事業
- を行っています。ぜひ応援していただきますようよろしくお願いいたします。

※寄附の手続き等詳細については、富山県HP (<https://www.pref.toyama.jp/3000/hurusatobokou.html>) をご覧ください。



…\*同窓会だよりについてご意見、ご希望あるいは新しい企画などございましたら事務局までご連絡ください\*…